

表 現 目 録

1-1 焼却灰の舞い上がり

フジコーポレーション処分場で焼却灰の埋め立て時、舞い上がりが確認されている。

放射性物質を含まなくても、ばいじん、(飛灰)は極めて危険な物質。

県も調査を約束。

危険な飛灰に関しては湿らせて搬入しているので舞い上げることはけしてありません。

私もその言葉を信じていました。

しかし住民の方からの言葉、「外からでもひどい時は見える。」とそれは埋め立てが進んだこともあり、以前であれば見えなかったものが確認できるようになったと言う事。

それと、この写真は場内のライブカメラの映像。

運び込み、場内で中間処理をしてセメントと混ぜて埋め立てるところに押し開ける写真です。その時にはより一層水分も含んでいるので舞い上がるはずなどないと思っていたが、驚きました。

そしてそれはしっかりと固化するのだろうか？



場内埋め立て作業



場内の舞い上がり

参考

次のような作業手順で灰の処理が行われるため灰の飛散は避けられません。

<http://www011.upp.so-net.ne.jp/tamaaji/mechanism/02.html>

1-2 Eステージ処分場の漏えいの問題。(埋め立て終了済)

水質検査しているのは、第2処分場ですが、第1処分場のほうも情報公開請求により漏えい可能性がきわめて高いことがわかっています。

この2つの処分場、現在は別会社ですが、フジコーポレーションとつながりが深い処分場で、設置時の責任者は現フジコーポレーション会長です。

同じセメント固化で埋め立てと聞いています。

これが漏えいしているとすると、現在の処分場これからどうなるのでしょうか？

2-1 焼却灰の飛散について

加湿して搬入するので飛散は無いと言う話だった。

しかし、中間処理をして、セメントと混練しているにも関わらず飛

散している。これはどう理解すればよいか？

放射性物質の問題以前にダイオキシン問題の時、飛散してはいけないと言うことではなかったのか？

2-2 現在処分場の底が上がっており、煙のようなものが外からでも確認できるんです。あれは湯気ではありません。

2-3 小諸市で行っています、民地の放射線検査で、数値の高いところが3か所あります。

0.1 μ Sv/h 以上のところが、御影区、谷池原区、和田区です。

なぜそうなるのかわかりませんがフジコーポレーションに近い区が、市の計測で高くなっています。

2-4 現在は別会社であるが、Eステージの2つの処分場もフジコーポレーション現会長が作った者であり、同じ方式で埋め立てており数年後には漏えいの可能性が極めて高いと思われる。

3 小諸市のフジコーポレーション処分場で受け入れ可能な放射能レベルは8000ベクレルではありません。1kgあたり10万ベクレルです。セメント固化だから。環境省に確認済み。国がそこまで認めている。

4 漏水探知システム、小諸市の処分場にも設置されており、今作る処分場にはたいてい設置されている。フジコーポレーション最終処分場には、なぜ設置されている。

以 上

これは正本である。

平成27年3月5日

長野地方裁判所上田支部

裁判所書記官

平瀬雄介

